

潮風をうけて快走

ヤ・シイ海辺のマラソン大会



12月10日(日)ヤ・シイパークをスタートに太平洋を眺めながら走るヤ・シイ海辺のマラソン大会が開催されました。3kmと5kmのコースがあり、約200人の参加者は暖かな日差しを浴びながら、冬の海辺を走りました。また、前週には夜須町スポーツ少年団の子どもたちがマラソンコースの清掃ボランティアを行いました。結果はスポーツボックスをご覧ください。

テーマは出会い・ふれあい・わかりあい

人権週間・香南市人権啓発フェスティバル

毎年、12月4日から10日は人権週間、3日から9日は障害者週間です。4日(月)には人権週間啓発街宣パレードとして人権擁護委員や市職員らが市内全域をまわりました。



10日(日)には「のいちふれあいセンター」で香南市人権啓発フェスティバルが開催され、人権作文の発表や桂こけ枝さんの「ほのぼの落語」、障害者疑似体験などに、たくさんの市民が来場し、人権について学びました。

障害者疑似体験で車イスの体験中



緊迫の救助作業

三宝山トンネル内多重衝突事故想定訓練



12月20日に開通の三宝山トンネル(野市町東佐古-兎田726m)で11日(月)、消防本部や警察署から約100人が参加し、多重衝突事故を想定した訓練が行われました。

バスと乗用車、10台に及ぶ玉突き事故が発生し、パトカーや消防車、救急車などが次々と急行。騒然としたトンネル内で救助隊員らが、車内に閉じ込められた負傷者の救出に懸命に当たりました。トンネルの外では、医療スタッフが応急処置を行い、重傷者は防災ヘリ「りょうま」で搬送。

見事な連携作業にも「本番で力が発揮できるよう、さらに訓練を」と、身を引き締めていました。



楽しいこと てんこ盛り!

のいち子どもフェスタ



高齢者クラブ手作りの綿あめ製造機

12月10日(日)雨のため1日延期された「のいち子どもフェスタ」が、野市総合体育館の駐車場を会場に行われました。7年前、「子どもたちが

主体となって楽しむことができるお祭りを」と計画し、実行委員会を立ち上げて以来、毎年開催しています。

今年も、高齢者クラブのメンバーに竹馬やこま回しなど昔遊びを教わる体験コーナーや物作りコーナー、PTAらの出店コーナーなどに約700人の参加者でにぎわいました。

子どものフリーマーケットでは約30人が店を上げ、ステージでは、剣道・少林寺拳法の演武、缶つみやぞうり飛ばし選手権などを楽しんでいました。

ぴかぴかの鼓笛セットだよ!

香我美幼稚園生活発表会

12月8日(金)香我美幼稚園で生活発表会が行われました。園児たちは何日も練習した劇や演奏を一生懸命発表しました。

この日、5歳児が披露したのは、鼓笛の演奏。真新しい鼓笛セットは、地域の火災予防に役立ててほしいと財団法人日本防火協会から贈られたものです。堂々と演奏するわが子の成長した姿に、保護者たちはさかんに拍手を送っていました。



曲目は「ドレミの歌」と「踊るボンポコリン」

みんなでいきいき元気!

えびすまんてん教室

10月から3カ月間、土佐リハビリテーションカレッジと共同で、歩行が不安な高齢者を対象に、手足の筋力を強くする体操を中心とした「えびすまんてん教室」が「のいちふれあいセンター」で開催されました。

12月12日(火)は最終日。歩行能力や敏しょう性、バランスなどの測定を行い、開始時と比較すると「自分では変化がないと思ったが、機敏になったと人に言われた」といきいき話す参加者の姿が見られました。



2007年 イノシシ年!

香我美小学校に土鈴プレゼント



12月11日(月)香我美町徳王子にある知的障害者通所授産施設「フレンドリー」から香我美小学校の全校生徒約300人に、来年のえとの土鈴が贈られました。

同施設のグループ施設が作成している土鈴は、魔よけのいわれがあり「お正月に飾ってください」と児童代表に手渡し、「今後も地域との交流を行っていきいたい」とあいさつをしていました。

ピュットをねらって

第1回香南市長杯ペタンク大会

12月10日(日)赤岡町運動広場で市長杯ペタンク大会が開催されました。始球式は市長と体育協会会長がボールを投げ、試合開始。約130人が真剣なまなざしで市長杯を目指しました。

四国中央市から参加した寺尾浩一さんは「力試しに交流しに来ましたが、難しいですね」と苦戦模様。優勝戦ではギャラリーが取り囲んでの好勝負でした。

結果はスポーツボックスをご覧ください。

